

【短報】 タチバナチビチョッキリの近畿での記録

タチバナチビチョッキリ *Temnocerus morimotoi* (Sawada, 1997) は、福岡市郊外の立花山で1976年から1997年にわたって採集された計8個体に基づいて記載された小型のチョッキリゾウムシで、謎の多い種である (Sawada 1997)。今世紀に入って香川県高松市奥之坊宝太郎山 (沢田 2005) およびさぬき市雨滝山 (久米 私信)、さらに愛知県春日井市松本町中部大学 (伊澤 2008) で各1♀が採集されている。

2010年、大阪府高槻市での自然観察行事において、小学生とその父兄によって本種が採集された。筆者も講師として参加していたので同定する機会があり、産状を知ることができたので報告する。



図1. 高槻市で採集されたタチバナチビチョッキリ。

1 ♀, 大阪府高槻市南平台 (芥川緑地公園), 135°03'40", 34°51'40", 25. IV. 2010, 田久保陽大ら。なお、当該標本は兵庫県立人と自然の博物館に所蔵される (B1-656564)。

今回の例は近畿地方での初記録である。その結果、中～西日本に散発的な5ヶ所の採集地が知られることになった。これらを含む案外広い地域に分布している可能性が示唆される。

寄主植物を含め、本種の生態はほとんど知られていない。長い体形と長い脚からは飛翔に長けていること、メスの長い口吻からは果実への産卵が推定できるが、実態は不明である。

福岡市の産地はアオキの多い照葉樹林で、サクらの花で得られたことがあり、香川県ではエノキの果実に来ることも示唆されている。今回の採集場所は住宅地に隣接して残された緑地であり、エノキの大木の下生えにアオキなどがあるほか、ソメイヨシノが多数植栽されている人為的な環境である。その点では従来知られている採集地とも共

通している。

末筆ながら、採集者の田久保陽大君、行事を企画された「あくあびあ芥川」の皆様、香川での産状についてご教示くださった久米加寿徳氏にお礼申し上げる。

引用文献

- 伊澤和義, 2008. 愛知県のチョッキリ類 (IV). 佳香蝶, 60(234), 163-164.
Sawada, Y., 1997. A new species of the genus *Pselaphorhynchites* from Mt. Tachibana, Fukuoka (Coleoptera, Curculionoidea, Rhynchitinae). *Esakia*, (37), 117-119.
沢田佳久, 2005. チョッキリゾウムシ最近の話題. 昆虫と自然, 40(7), 27-30.

(兵庫県立人と自然の博物館 沢田佳久)

【短報】 北海道未記録と思われる甲虫の記録

筆者の知る限りにおいて、北海道で未記録と思われる甲虫3種を採集しているので報告する。

Dasyceus japonicus Nakane, 1963

イトヒゲニセマキムシ

1ex., 北海道札幌市南区砥山観音沢, 6. IX. 2009, 筆者採集。

沢沿いに倒れていたハンノキの樹皮のはがれた部分のスプレーイングにより採集。

Europs (Europs) temporis Reitter, 1884

ホソデオネスイ

1♂, 1♀, 北海道虻田郡倶知安町高嶺, 5~8. VII. 2009, 筆者採集。

バナナに焼酎を加えたベイトトラップにより採集。

Anisoxya conicicollis Champion, 1916

ズカクシナガクチキ

1ex., 北海道苫小牧市錦岡, 20. VIII. 2006, 筆者採集。

トドマツ伐採木のピーティングにより採集。

なお、ホソデオネスイを同定していただいた小田原市の平野幸彦氏、ズカクシナガクチキを同定していただいた宇治市の水野弘造氏に深謝する。

(〒001-0031 札幌市北区北31条西6丁目2-10-1202 柏崎 昭)